

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	牛久市こども発達支援センターのぞみ園		
○保護者評価実施期間	2025年12月15日		～ 2026年1月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	121	(回答者数) 57
○従業者評価実施期間	2025年12月15日		～ 2026年1月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・有資格者が多く、専門性が高い	・職員間の連携・ミーティングの実施・研修会への参加・アセスメントを実施している。	・内部・外部研修への参加、専門的知識の学びを深め、職員間で知識の共有化を図っていく。
2	・他機関との連携を密にとっている	・こどもの未来応援センターや教育委員会との連携を行っている。 ・幼稚園・保育園・小学校との連携を行っている。	・幼稚園・保育園・認定こども園の方針を理解し、訪問を継続していく。 ・小学校への移行も引き続き力を入れていく。
3	・親子通園のため、保護者支援ができる。	・ペアレントトレーニング・おしゃべり会・勉強会を実施している。 ・相談・面談を実施している。 ・家庭でも実践ができるようなアドバイスをしている。	・きょうだい児支援 ・外国籍の方に向けた対応の充実

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・午前の小集団指導利用者が減少している。	・保育園に就園している利用者が増加し、午前の小集団指導に参加できる日程が限られてしまう。	・1～2歳の時期に親子で小集団指導に参加することの意義を周知していく。 ・効果的な支援プログラムを構築していく。
2	・牛久市全体の支援が必要なお子さんへの支援の充実。	・牛久市全体の支援が必要なケースを把握しきれていなかった。 ・アウトリーチできていない。(R8年度から子育てひろばでの相談を実施予定)	・継続して地域の主任児童員のみならず、支援が必要なケースや支援への繋げ方などのお話をさせてもらう機会をつくっていく。
3	・他事業所との連携の充実。	・必要に応じてケース担当者会議等行ってきたが、十分ではない。	・他事業所へのスーパーバイズ、コンサルテーションを行い、連携を強めていく。